

CAS	302012
物質名	ヒドラジン
IARC Vol. (発行年)	71 (1999年)
遺伝子傷害性に関する知見	<ul style="list-style-type: none"> ・ in vitro 試験系では、細菌、酵母菌、ショウジョウバエを用いる試験で遺伝子突然変異を誘発した。 ・ in vivo 試験系では、マウス、ラット、ハムスターの肝臓で DNA 傷害を認めた。
実験動物に関する知見	<p>評価：十分な証拠</p> <p>概要：マウスへの経口投与の結果、乳房と肺の腫瘍を、ラットへの経口投与及び吸入暴露の結果、肺、肝臓、鼻及び結腸の腫瘍を認めた。ハムスターへの経口投与及び吸入暴露の結果、肝臓の腫瘍及び甲状腺の腺腫を認めた。</p>
ヒトに関する知見	<p>評価：不十分な証拠</p> <p>概要：規模の小さな2つのコホート調査では、各種のがんで発生率上昇が認められなかった。</p>
評価結果	<p>上記のとおり、本物質は in vitro の複数の試験系で遺伝子突然変異を誘発し、in vivo 試験系で DNA 傷害が認められたことから、より詳細な情報収集を行う必要があると考えられた。</p>